

《4月の番組ガイド》

鳥取市行政番組
「こんにちは、鳥取市です」【放送】毎週金・土

鳥取市の施策や事業の取り組み状況、各種行事、お知らせを紹介します。

《今の特集》

- ・モラル、マナー、ルールを大切に作る風土(人)づくり事業
- ・元気です!!
- 「鬼入道グリーンツーリズム研究会」(鹿野町)
- ・機関誌「輝なんせ鳥取」編集委員募集
- ・健康づくり推進員が紹介する「ふれあいウォーキングマップ」

《放送時間》

- ① 6:30 ② 7:30 ③ 8:30 ④ 9:30 ⑤ 10:30
- ⑥ 11:30 ⑦ 12:30 ⑧ 13:30 ⑨ 17:30 ⑩ 18:30
- ⑪ 20:30 ⑫ 21:30 ⑬ 22:30

※【いなばアグリタイム】、【とっとりウォーキング】も同様です。

静止画文字情報「鳥取市からのお知らせ」



イベント・募集・相談などの各種お知らせを、番組と番組の間に、くり返し放送します。

農業番組【いなばアグリタイム】【放送】毎週火・木

農作物の栽培技術情報や旬の話題、農業関連行事・イベントなどを紹介します。

自主制作番組【とっとりウォーキング】【放送】毎週水

地域の祭や伝統行事、話題や住民のみなさんの活動を紹介します。

手話番組【手話でコミュニケーション】【放送】毎週金・土

鳥取市の各種行事やお知らせを手話で紹介いたします。また、手軽な手話講座「やさしい手話」をお送りしています。

※平成18年4月のサービス開始に向けて、現在、鳥取市全域のCATV網の整備が進められています。

情報をお寄せください!

いなばぴよんぴよんネット ☎ (0857) 22-6111

※放送予定は予告なく変更することがあります。

また、番組はホームページでも紹介しています。

<http://www.inabapyonpyon.net>



女性が主役のグリーンツーリズム交流センターには週1回集まります

のミミズも捕ってくるというふうにも。また、食事も畑で採れた野菜を中心に、山や野原を散歩しながら採ったものをてんぷらにしたりとか、私たちが普段食べているものに少し添えたりする程度。いらつしやう方もとても喜ばれ、遠くの親戚が遊びに来られたような感じでした」と笑顔で話されます。

大先輩のパワーと女性の元気で

林さんは関西での生活の後、6年前に脱サラし、鬼入道へUターンしました。「外で暮らしているときは、故郷は生まれた土地だというだけで特別な思いはなかったですね。働くのが精いっぱいだったのかもしれない。が、実際に帰って来て自分の生き方を考えたとき、ここで将来を見つめたいという思いがだんだんと強くなってきました。故郷で大先輩が築き上げた農業を受け継いでいくことが、私た

ちの務めなのではと。グリーンツーリズムからたくさんさんのエネルギーをもらっています」とのこと。

また、グリーンツーリズムは女性が主役だと、はっきりおっしゃいます。宿泊のお世話や農産物の加工、昔から伝わる料理の指導などは、主に女性が中心。女性の元気はこのグリーンツーリズムには欠かせないものであり、女性の社会的・経済的自立にも大きな意味をもっています。

これは決めた難所をオートバイでクリアするスポーツで、この大会は全日本でもトップクラスの選手が参加。鬼入道の自然環境が生かされた山中のコースで、ハイレベルな戦いが繰り広げられます。役員や選手の宿泊や食事の世話なども、集落全体で受け入れています。

これからの抱負をお尋ねしました。「100組の都市の家族にファンになっていただきながら、リピーターを増やし、ビジネス化を図り自立すること」と語る林さんの瞳は輝いていました。

自分たちの村を自分たちで活性化 「鬼入道」。初めて目にされる人もいらつしやるのではないでしようか。鹿野町に古くから伝わる悲しい恋の物語の主人公「さくら姫」の祖父が出家してこの地に入り、村人から「紀入道」と呼ばれてきたこと由来すると言われていたが、江戸時代の記録では「木入道」だったと。それが明治以降に「鬼」に変わったことと。

今回ご紹介する「鬼入道グリーンツーリズム研究会」は、鹿野町を流れる末用川の最上流にある世帯数19戸の集落のみなさんです。グリーンツーリズムというのは、農山村に滞在して農業体験などを通して、その地域の自然や文化に触れ、地元の人々との交流を楽しむ旅のことですが、この会は自分たちの村を自分たちで活性化しようとして、平成14年3月に発足。「その前々年に先進地へ勉強に行ったとき、そこでがんば

っている女性のイキイキとした表情に出会ったことが始めるきっかけだった」と、会長の林輝幸さんはおっしゃいます。 鬼入道には、山、川、そして昔ながらの山あいの田んぼなど、農山村の原風景が広がります。宿泊を受け入れてもらつしやる谷口さんご夫婦は「ネオン、コンビニ、自販機もありませんが、水と空気のおいしさは自慢できます

し、売りはなんとと言っても人情」と、胸を張ります。ご主人の興さんは「この3年間で、60人ぐらいの宿泊を受け入れました。初めは不安でいっぱいでしたが、普段どおりのペースでやることで自信につながって来たように思います」と振り返り、興さんの恵子さんは「このやり方は型にはめない、お膳立てはしないというのが原則です。たとえば、川で魚釣りをしたい人には、竹を取ってきて竹竿を作り、そして針を作り、えさ

シリーズ 元気です 37

自立、そして 地域を誇りに思うことが グリーンツーリズムの神髄



左 谷口 恵子さん Keiko Taniguchi
中 林 輝幸さん Teruyuki Hayashi
右 谷口 興さん Kou Taniguchi

き にゅう どう 鬼入道

グリーンツーリズム研究会

